

経営比較分析表（令和3年度決算）

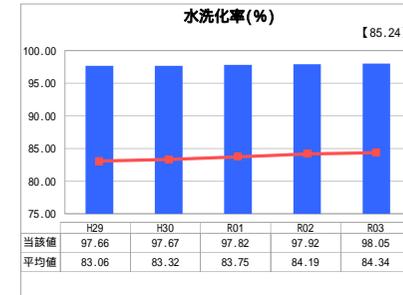
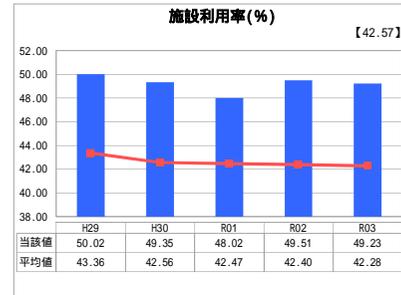
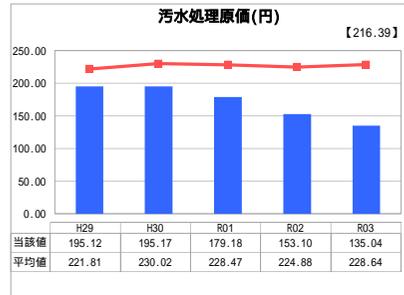
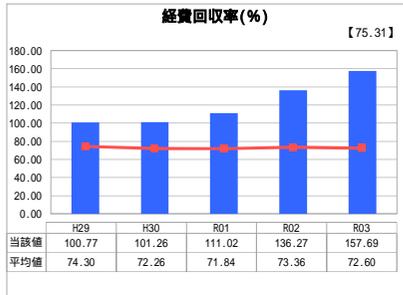
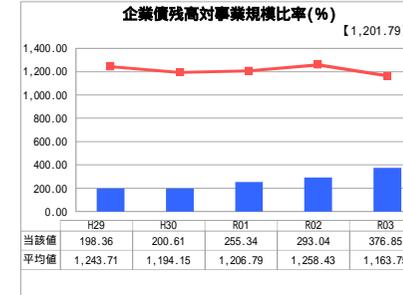
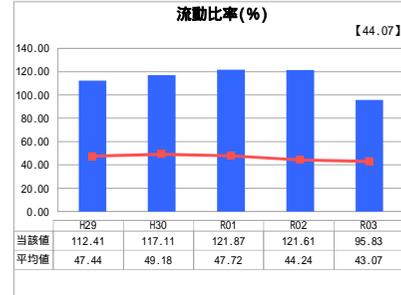
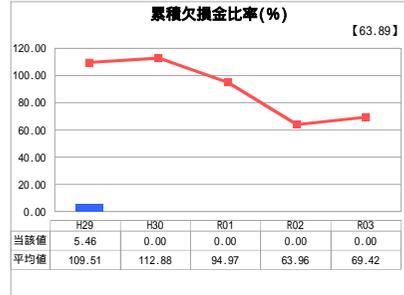
兵庫県 丹波市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	52.51	40.04	91.79	4,262

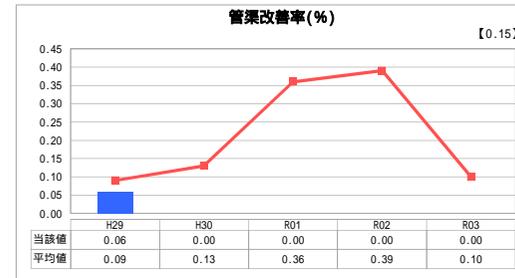
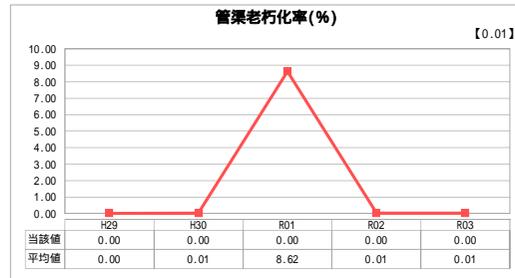
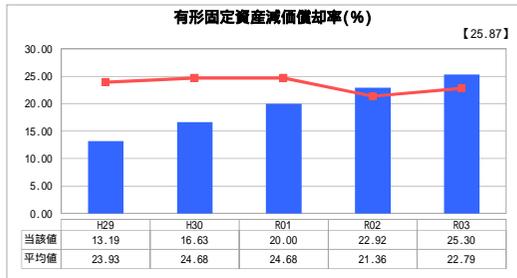
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
62,411	493.21	126.54
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
24,884	15.66	1,589.02

グラフ凡例
当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は、類似団体平均並みとなった。累積欠損金比率は、累積欠損金が発生しておらず0%である。流動比率は、投資有価証券の購入により減少したが、類似団体平均は大きく上回っている。企業債残高対事業規模比率は、類似団体平均を大きく下回っている。経費回収率は、類似団体平均を上回っており、コロナ禍における生活様式の変化や料金改定の影響などにより向上している。汚水処理原価は、類似団体平均を下回っている。施設利用率は、処理施設の統廃合事業の成果により向上する年度があり、長期的には人口減少等の影響により減少傾向である。水洗化率は、類似団体平均より高く、微増傾向である。

2. 老朽化の状況について

管渠老朽化率及び管渠改善率は、耐用年数を経過した管渠がなく、ともに算定されていない。特定環境保全公共下水道の管渠延長328kmを有し、その改築更新については、令和23年頃より順次耐用年数を経過するため、計画的な改築更新に向けて財源確保に取り組む必要がある。

全体総括

経営の効率性や財政の健全性を示す指標については、概ね良好な数値であり、健全な経営ができています。現在、老朽化している農業集落排水施設の処理場が更新時期を迎える前に、その機能を廃止し、特定環境保全公共下水道の処理場へ統合し、改築更新費用を縮減する統廃合事業に取り組んでいる。施設の法定耐用年数が経過する令和23年頃から、改築更新費用の増大が見込まれるため、ストック・マネジメント計画に基づき処理施設の長寿命化対策を図りながら、「次世代へつなく持続可能な下水道」の構築に取り組む必要がある。